

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)
群馬県前橋市元総社町七三―五
TEL 027・2555・3434
FAX 027・2555・3435
<http://www.neues-asahi.jp>

日曜日の一日、「現代書と花」の展覧会とアーツ前橋で開催されていた「公園デビュー」の軌轢オーケストラを見に出かけました。

「現代書と花」の会場では初日に開催された詩人の関口将夫氏の自作詩朗読とチェロ奏者の須田千香良氏とのコラボレーションのビデオを見て書作品を鑑賞。久しぶりに街中で軽く食事をし、午後にはアーツ前橋での前橋周辺の民族音楽、ノイズ、セッション系ミュージシャンのフリーセッション、ポエトリリーディング等も加わり、音の空間にずっぷりと浸かりました。数ヶ月前に坂本龍一の「アウト・オブ・ノイズ」というアルバムの事で『ノイズ』について少し興味があったので「音」と「言葉」について改めて考えるよい機会になりました。

坂本龍一のオリジナル・アルバムは、音楽に関わる全ての要素を脱構築して繰り返し演奏、不協和音、環境音など現代音楽的な手法を取り入れ、結果として旋律、和音、拍子が存在せず「氷河の下を流れる水の音」「そりを引く犬の鳴き声」「氷の洞穴で鳴らしたベルの音」などが含まれています。想像しただけでも聴きたくなります。

サンプリングされた「音」にピアノやバイオリン、ギターなどの「音」を加えて作品に……。

「ノイズ」が「雑音」と訳されてきた日常的慣用表現はありますが、処理対象となる不要な情報で、西洋音楽では「雑音」と訳して「騒音」や「雑音」とは区別しているのです。まったく違った意味で魅力的な要素があります。アナログレコードの極意とまで言われている「プチプチノイズ」なども最近では見直されて多くのレコードファンが増えているとか……。

日曜日の一日、詩(言葉)とチェロ(音)とのコラボレーション。そして、アーツ前橋での音と言葉のフリーセッション。

音の中に「言葉」を感じ、言葉の中に「音」を感じた一日でした。日常、耳から入ってくる「音」を意識して感じているのも面白い発見があるかもしれません。また、普段口にしていない「言葉」についても少し考えてみるのも新しい世界が見えてくるかもしれません。

子供の頃、何気なく生活の中にとけ込んでいたキンモクセイの香りが何十年もして、ある時に突然、臭覚を刺激して当時の映像が浮かんでくるという「魔法の花粉」のような現象が「ノイズ」の中にも隠されているような気がします。

(武藤)

ノイエス朝日(展覧会)のご案内

下田紀史個展

〈企画〉

会期 三月三日(土)～十一日(日)
午前十時～午後五時三十分(最終日は五時)
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

縁に随う

―― 綿貫哲雄作陶展 ――

〈企画〉

会期 三月十三日(火)～二十日(火)
午前十時～午後五時(最終日は三時)
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

斎藤 泉 創作ビーズ織展2018 光彩る「ガラスの妖精たち」

会期 三月二十三日(金)～二十六日(月)
午前十時～午後五時(最終日は午後四時)
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

問い合わせ先
斎藤 泉

TEL 027・232・7474

四月の予告

石原彰二展

〈企画〉

会期 四月七日(土)～十五日(日)
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

スペイン在住の石原彰二氏の展覧会
作家は会期中在廊しています。

〈県内の展覧会・講演会情報〉

人、鶴岡政男 逃がすな

会期 二月十日(日)～三月二十五日(日)
午前十時～午後六時(金曜は八時)
会場 高崎市美術館
観覧料 一般一〇〇円・大高生八〇円
休館日 月曜日
TEL 027・324・6125 高崎市美術館
*詳細については直接お問い合わせ下さい。

横堀角次郎と仲間たち

草土社の細密画から、郷里赤城山の風景まで
会期 三月十七日(土)～五月二十九日(火)
午前十一時～午後七時
会場 アーツ前橋
観覧料 一般五〇〇円・学生・65歳以上三〇〇円
高校生以下無料

休館日 水曜日(三月二十一日開館・二十二日休館)
TEL 027・230・1144 アーツ前橋
*詳細については直接お問い合わせ下さい。

第4回 著者が著作を語る会

小さき花 そのいのち輝くとき

―― 花写真を語る ――

日時 三月八日(木)午後二時～三時三十分
会場 群馬県立図書館三階ホール
講師 片貝好昭 氏
お申し込み先

群馬県立図書館総務係 TEL 027・231・3008
みやま文庫事務局 TEL 027・232・4241

*
ノイエス朝日は、展覧会会期中以外は休廊しています。
お問い合わせは展覧会会期中にお願い致します。